

2020年5月14日

2020年4月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判、巻取共に生損保・学参関連で一部動きがあったものの、新型コロナウイルスの影響で特にチラシ関連は今まで経験したことがない仕事量の激減で前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 79.0% 巻取 58.8%）

再生紙は平判、巻取共に昨年も前年比 76.0%と厳しい数字だったが、今年も更に仕事量の減少と入札物件の受注確率が低迷している。また新型コロナウイルスの影響が輪を掛け前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 87.8% 再生上質巻取 67.2% 再生上質計 79.0%）

（前年比 印刷用紙 A73.9%）

<A2 コート>

平判、巻取とも新型コロナウイルスによる影響で金融、生損保等の定期案件の動きも鈍く、また各種イベントの延期、中止等で各企業の販促物を含む印刷物案件全般の需要が大きく減少し、平判、巻取とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 66.0% 巻取 64.3% 全体 65.6%）

<A3 コート>

継続的な紙離れに加えて新型コロナウイルスの影響によるスーパー、小売店等のチラシの自粛が一段と進み、また学習塾、量販店、旅行等の定期案件の動きも殆ど無く前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 70.1% 巻取 64.6% 全体 66.6%）

<ノーカーボン紙>

昨年の増税向けの需要分の落ち込みや新型コロナウイルスの影響もあり、生損保関連の動きも弱く、その他新規案件、一般の帳票関連の動きも平判に関しては非常に弱かった。巻取も平判ほどではないが前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 65.0% 巻取 82.3%）

<上質フォーム>

新型コロナウイルスによる影響もあり生損保関連、金融、官庁関連の納付書をはじめ、一般の動きも非常に弱く、一部給付金関連の動きが聞かれたものの前年を大幅に下回った。

（前年比 88.6%）

<包装用紙>

特殊両更は官公庁、金融関係、一般企業向けの年度末需要の積み残しがあったものの全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

(前年比 98.4%)

両更晒は官庁関係の特需や金融関係の封筒用途が好調で前年を上回った。

(前年比 102.7%)

色クラフトは一般企業向け封筒用途で動きがあったものの全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

(前年比 98.4%)

その他は新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要の減少や、外出自粛など消費低迷により動きが低調で軽包装(前年比 73.7%)、片艶晒(86.1%)、純白ロール(90.0%)と各種軒並み前年を下回った。

包装紙合計で 87.3%と前年を下回った。

<板紙>

新型コロナウイルスの影響で依然としてインバウンド需要、土産物などは減少しているが、外出自粛のため自宅で食事をする機会が増え、冷凍食品、持ち帰りの紙トレイ、日用雑貨は堅調であったが、特板などのPOP関連も減少しており全体的には昨年を下回った。

(前年比 91.6%)